

今後のワクチン供給に係る緊急申し入れについて

新型コロナウイルスワクチンの接種について、この度総理が掲げる目標1日100万回接種に達するなど、希望する国民へのワクチン接種に弾みがついてきたところであり、全国知事会も一致協力して早期接種へ向け尽力してまいる所存である。

他方、ファイザー社製ワクチンの供給が7月以降減少し、またモデルナ社製ワクチンについても、職域接種や大規模集団接種の申請受付一時休止となるなど、64歳以下のワクチン接種へ移行し始める時期に、現場で今後の行方を懸念する声もあがっている。

このため、政府におかれては、下記について対応していただくよう緊急に申し入れる。

1. 職域接種、大規模集団接種の申請受付の一時休止により今後のワクチン接種に混乱が生じないように、すでに申請を受け付けた企業・団体や自治体に対しては、今後の手続きも含め早急に対応方針を示すとともに、責任をもってワクチンを供給していただきたい。
2. ファイザー、モデルナに加えて、その他のワクチンも含め、全体として必要なワクチンを現場のスケジュールに合わせて適時適切に供給できるよう、万全を尽くしていただきたい。
3. 新型コロナウイルスワクチンについては、予防接種法に基づき市区町村が中心となって接種する体制を構築してきたところであり、市区町村の接種を円滑に進められるよう、必要なワクチン供給など支障が生じないようにしていただきたい。

令和3年6月25日

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部

本部長・全国知事会会長 徳島県知事 飯泉 嘉門

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種特別対策チーム

チームリーダー 鳥取県知事 平井 伸治

副チームリーダー 三重県知事 鈴木 英敬

副チームリーダー 山口県知事 村岡 嗣政